

第1回北海道水産海洋研究集会

－水産資源管理に活用される標識放流調査：標識放流調査の再評価と新展開－

主催：一般社団法人水産海洋学会

後援：戦略的創造研究推進事業（CREST）「海洋生物多様性および生態系の保全・再生に資する
基盤技術の創出」研究領域

日時：2015年10月12日（月） 09：30～13：00

場所：釧路市国際観光交流センター（北海道釧路市幸町3-3）

コンビナー：宮下和士（北大FSC, JST・CREST）、高柳志朗（釧路水試）、佐野 稔（稚内水試）

総合司会：佐野 稔（稚内水試）

挨拶：和田時夫（一般社団法人水産海洋学会長） 09：30～09：35

趣旨説明：佐野 稔（稚内水試） 09：35～09：40

話題

座長：佐野 稔（稚内水試）

1. 北海道における標識放流調査の歴史・・・・・・・・・・・・・・・・ 09：40～10：05
高柳志朗（釧路水試）

座長：宮下和士（北大FSC, JST・CREST）

2. 魚種別の最新事例
①ヒトデ類・ホタテガイ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10：05～10：25
三好晃治（網走水試）

②ミズダコ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10：25～10：45
佐野 稔（稚内水試）

③サケ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10：45～11：05
宮腰靖之（さけ・ます内水試）

④ブリ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11：05～11：25
阪地 英男（瀬戸内水研）

⑤カツオ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11：25～11：45
清藤秀理（国際水研）

座長：高柳志朗（釧路水試）

3. 標識放流調査の今後の展望・・・・・・・・・・・・・・・・ 11：45～12：05
宮下和士（北大FSC, JST・CREST）

総合討論

座長：宮下和士（北大FSC, JST・CREST）、高柳志朗（釧路水試）、佐野 稔（稚内水試）

12：05～13：00

開催趣旨：対象生物に外部標識を装着して放流して再捕する調査手法は、古くから行われてきた。この調査の目的は、対象生物の移動、回遊経路、成長の解明、産卵場の推定、種苗放流効果の判定、資源量の推定など多岐にわたり、その成果は資源管理を推進する際の科学的根拠として活用されてきた。標識は古くは文字を印字した札タイプであり、放流場所と再捕場所の位置情報、その期間の成長を把握するだけであったが、近年ではアーカイバルタグなどにより標識を装着した生物が経験した環境情報や詳細な位置情報など以前より多くの情報を取得できるようになり、水産資源管理のさらなる推進に貢献できる調査手法である。そこで、本地域研究集会では、北海道で行われてきた従来手法による標識放流調査について振り返るとともに、アーカイバルタグを用いた最新の成果を紹介することで、今後、水産資源管理への活用に向けた標識放流調査の今後の展開、可能性について議論する。